

Chausson Chamber Music

Poem & Concert 4/4 (THU) 2024

ショーソン ポエム&コンセール 室内楽演奏会



Solo Violin / Poem
Chie Moriyoshi



Solo Violin / Concert
Koichi Miyoshi



Violin /
Yukiko Mori



Viola /
Yukine Hasegawa



Solo Piano /
Chikako Kojima



Piano /
Masako Muneyuki



Cello /
Shingo Yamada

2024年4月4日(木)

19:00 開演(18:30開場)

*18:45から出演者によるショーソンと作品についてのプレトーク

電気文化会館

ザ・コンサートホール

入場料 一般/4000円 学生/1000円

演奏曲目/ ショーソン作曲 ポエム 作品25 (Solo Vn & Pf.Quintet)

コンセール ニ長調 作品21 (Solo Pf.Vn & St.Quartet.)

*

*

出演者プロフィール

Violin/森本千絵(もりもと ちえ)



京都市立芸術大学音楽学部卒業と同時に名フィル入団。以後退団し、ロンドンに留学。故イフラ・ニーマンに師事。英国王立音楽大学演奏家資格取得。1993年「リサイタル・オブ・ザ・イヤー」(朝日新聞)に選ばれる。電文「ザ・アンコール'96」に出演。名古屋市文化振興事業団「新進演奏家海外研修助成対象者」としてヨーロッパ5カ国で研修。「音楽の友」など各誌面で高い評価を得る。国内外で多数演奏。2003年から10年間「朝の室内楽シリーズ」(電文共催)主催。2011年 森本千絵Vn.小品集CD全国リリース。名フィルと協奏曲を度々共演。2014年「ベートーヴェンVn.ソナタ全曲(全10曲)演奏会を札幌で開催。2017年より毎年シェボーン(英)夏期音楽講習会に招聘されている。現在名古屋と札幌の両都市で活動、後進を指導。

Violin/三好孝市(みよし こういち)

1968年札幌生まれ。幼少よりヴァイオリンを始め、札幌交響楽団創始者の荒谷正雄氏に師事。STV(札幌テレビ)主催の青少年音楽コンクールにて最優秀賞受賞(小4)。北海道大学在学中にPMF音楽祭にて、レナード・バーンスタイン、ティルソン・トーマス指揮のもと演奏。卒業後、東京を拠点に在京のオーケストラ、室内楽などで活動。現在は名古屋に拠点を移しソロ、室内楽の演奏会のほか、オーケストラや吹奏楽の指導、指揮も行う。2021年無伴奏リサイタルシリーズ(6回)を開催。バロック弓を使ったバッハの作品演奏を披露し新たな演奏表現を示した。2022年様々な楽器との「ザ・デュオ」シリーズを始め既に5回開催。好評を博すほか2022年から1年間「ベートーヴェンVn.ソナタチクルス」(4回完結)開催するなど精力的なソロ、室内楽活動を行っている。



Piano/小島千加子(こじま ちかこ)

愛知県立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業、同大学院博士前期課程修了。在学中より度々渡米、ヴィタリー・マルグリシ氏のもと研鑽を積んだ。これまでに多数のリサイタル、オーケストラとの協奏曲共演等ソリストとしての活動のほか、室内楽奏者としても精力的に活動、各種リサイタルの共演ピアニストも務める。2017年よりMusicasa Tsuchikaneアンサンブルシリーズを開始。テーマに基づくプログラムとアカデミックかつ親しみやすい解説を交えたコンサートは毎回好評を得ている。現在はベートーヴェンの室内楽シリーズを展開中。また新しい音楽スタイルのこども音楽会の企画・開催も行う。これまでにピアノを伊藤仁美、宮田俊夫、松本総一郎、大西愛子、ヴァディム・サハロフの各氏に、古楽理論・ソルフェージュ研究協議会正会員。



Violin/森由紀子(もり ゆきこ)

愛知県立明和高校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部器楽科卒業。卒業後渡独、バイエルン州立ビュルツブルク音楽大学、ロストック音楽・演劇大学大学院にて引き続き研鑽を積む。カッセル州立歌劇場研修生、ニュルンベルク州立歌劇場アカデミー生を経て契約団員として活動。これまでにヴァイオリンを 庄司操、佐々木はるる、四方恭子、ギオルギ・バブアゼ、朝枝信彦、エアンスト・トリナー、シュテファン・ヘンペル各氏に師事。またマスタークラスにてジュリアードカルテットの故トーマス・ブランディス氏に師事。現在札幌在住。室内楽やオーケストラでの演奏活動に加え後進の指導にあたる。



Viola/長谷川雪音(はせがわ ゆきね)

岐阜県出身。5歳よりヴァイオリンを始め20歳でヴィオラに転向。岐阜県立加納高等学校音楽科を経て、名古屋音楽大学弦楽コース卒業。同大学研究生修了。第21回「万里の長城杯」国際音楽コンクールアンサンブル部門大学の部優秀賞。第29回日本クラシック音楽コンクール室内楽部門全国大会出場。大学在学中、オーディションに選拔され室内楽コンサートに出演。これまでにヴァイオリンを安部奈々恵、岩崎能子、加藤二葉の各氏に、ヴィオラを百武由紀氏に、室内楽を古井麻美子氏に師事。現在オーケストラや室内楽の演奏活動、後進の指導にあたっている。



Cello/山田真吾(やまだ しんご)

6歳より才能教育研究会でチェロを始め、ハンガリー国立リスト音楽院修了。第14回ブルクハルト国際音楽コンクール弦楽器部門第2位(最高位)。第2回東京サミット音楽コンクールグランドファイナル銀賞。第22回ヨーロッパ音楽コンクール弦楽器部門第3位(イタリア)。他、国内外のコンクールに入賞。日本演奏家連盟主催新進演奏家育成プロジェクトオーケストラシリーズに円光寺雅彦指揮名フィルと共演した他、セントラル愛知交響楽団、香港ベルカントオーケストラ等と協奏曲共演。これまでにチェロを林良一、オンツァイ・チャバ、ケルテス・オットーの各氏に、室内楽をビバリー・ラースロー、ゲーザ・ハルギタイの各氏に師事。現在ソロ、室内楽奏者として活躍する一方、オーケストラの客演首席奏者も務める。岐阜大学工学部卒業。岐阜県芸術文化奨励賞受賞。



Piano/宗行晶子(むねゆき まさこ)

大阪府出身。京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業。なにわ芸術祭新進音楽家競演会にて新人賞、大阪府知事賞、大阪市長賞を受賞。日本ショパン協会関西支部推薦による「ショパンの夕べ」に出演。2015/19/23に新城吹奏楽団とピアノ協奏曲を共演。ピアノを江崎皓介、田原富子、佐藤价子の各氏に師事。現在、愛知県を中心にソロやアンサンブルで幅広いジャンルでの演奏活動を行う傍ら、豊橋市の自宅でピアノ教室を主宰して後進の指導にあたっている。

